

# 日立シニア会

第15号

発行  
平成16年4月1日

大みかゴルフ日立シニア会会報



4番ホールグリーンに向かって 植田 光

## 一万を目指して

監事 山崎 精二



鶴は千年、亀は万年 にあやかって1万を目指している。

趣味は？と聞かれると、油絵、パソコン、ゴルフ などなど。

絵の方はH15年末で累計9,681号に到達した。まもなく1万号達成。

パソコンの場合は自分のホームページを開設して、閲覧者1万人を目指していたが、H9.12以来H13.10で1万人になった。現在は15,600人目ぐらいである。これは他人まかせである。

ゴルフも1万ラウンド？ といきたいが、プロでも困難だろう？ そこで目標を1万ホールとした。

H3.5.5の静コースからのスコアは貼り付けて保存してあり、昨年末までで272ラウンドは明確であるが、S42からの24年間の記録は無い。そこで大雑把に推定してみるとこの間は235ラウンドとなった。累計では507ラウンド、つまり9,126ホールである。残り50ラウンドだ！後5年、83歳くらいなら、達成出来るだろう。このシニア会には良き先輩が居られる。

私のクラスメイトが最近相次いで突然亡くなった。一人は週に3回もテニスをやっていた健康診断オールAの友だった。もう一方は激務に体を壊して、酒も控えて養生されていた友だった。二人ともゴルフは殆どされなかった。

年輩者にはテニスはきつ過ぎるが、運動はした方が良い。二病息災の身ながら、スコアはともかくゴルフが出来るだけでも幸せである。

私と大みかコース



A 組  
柴田 一

私は、S14・5年頃、大甕駅で停車中、汽車の窓越しに、日立電鉄の線路に近い土手の松林の中で、白いボールを打っている人を見たことがあり、ここにゴルフ場があるんだよと教えられたことがある。S21年夏、社内でゴルフ場を開墾している農産課大みか班に行った。大甕駅のホームと電鉄の線路を横切り、土手を上ってコースに入った。きれいな芝生に驚きながらクラブハウスの正面を横切ると今の6番ホールのグリーンの所には芝生を切って作った土のうに囲まれた対空用の銃座の跡があった。

陶園の前を通り今のけやき荘あたりにあった事務所  
所に田口さんを訪ねた。周りには芝生を剥がして薩摩芋の苗を差した畑、今の南部支所の一本松あたりの海側を案内してもらった。乳牛を放牧していて、牛乳は毎日日立病院に運ぶとのこと。

S34・5年頃、6ホールの狭いコースをお供をして回ったことがある。「ゴルフを始めるなら、ルールブックをよく読んでコースに出ろよ」と、同じ部にいた加沼さんから教えられたのが唯一の金言でした。

また、上司であった篠原さんから、今度はコースも広がったから一緒に回ろうとお誘いを受け、広がった今のコースを回ったあと、苦労話の一端を拝聴したことが懐かしい。

「小平創業社長の造られた名コースを部分的でも復元したい」との幹部の熱意で拡張の方向が決まったけれど、農地転用では周囲の理解を求めるのに大変ご苦勞されたようです。

このように先輩方が後輩に残してくれたコースを感謝しながら使わせて頂いておりますが、今のよう  
ように利用者の減少傾向では、先行きが心配されます。

何とか知恵をしぼって考え、維持継続に貢献したいものです。

我流お祭りゴルフ



B 組  
八木 秀幸

ゴルフ歴は30年を過ぎた。道具の購入から始まり、練習やコースに付き添って下さった多くの先輩、友人の顔が浮んでくる。忙しい仕事の合間の中途半端な職場ゴルフの時期が過ぎ、退職後は目一杯楽しむつもりでいたところ、退職と同時に入院、療養の世界にはまった。もうゴルフはできないと思った。やがて仲間励まされて再開したものの、事態は、いわば道場ゴルフからリハビリ養老ゴルフに変わったことに気がついた。70才を目前にして・・・あと何年ゴルフを続けられるか。どう向き合うべきか。

- (1) ゴルフの前日から興奮気味で、当日には朝早く目覚める。この現象は若いときと変わらない。
- (2) クラブを目一杯振る癖と、リスク無視の攻撃性が直らない。一発ゴルフが運良く成功すると気分は最高に良い。
- (3) そうだ、私にはそれゆけドンドンで止らなくなるゴルフが最適だ。鉦、太鼓、舞おどり、祈りと神はいずこ？

- ・祭り人クラブ翳<sup>かさ</sup>して球祈願
- ・芝の上乱れ打つ舞神笑い

昨年、生涯初のイーグルを大みか1番ホールで経験した。なんとそばに社が在す。

## ゴルフと囲碁と太極拳



B組  
安田 富郎

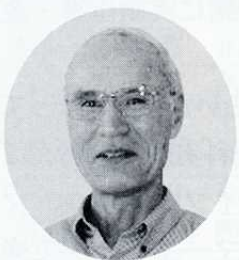
日立シニア会では落第生ですが、下手の横好きで趣味は広く、中でも最近は囲碁と太極拳に力を入れています。

ゴルフと囲碁は良く似ていると思います。囲碁は布石→中盤→寄せ、と進み、ゴルフはティーショット→アプローチショット→パッティングと進みます。結果は球に聞くとして、一応コースレイアウトを考えて落しどころを決め（自分の得意な形に少しでも引き込むように）ティーショット（布石）

を打つ。当然ティーショットが決まればそのホール（対局）は非常に有利になるが、ゴルフ（碁）はティーショット（布石）では決まりません。上がってなんぼです。アプローチやリカバリーショット（中盤の戦い）にその人の力が出ます。ここでミスショット（見落とし、読み負け）したらそのホールはほぼ決まります。ところがここでも上がってなんぼは生きていて、パッティング（寄せ）がまずいと一発大逆転です。

ゴルフ・囲碁いずれも体力、気力の充実を必要としますが、特に腰の安定と平常心の維持に太極拳が非常に役立つように思います。シニア会では黒澤、吉田、坂本、根本の諸氏が太極拳の先輩で私はまだ駆け出しの身ですから詳細は経験豊富な方に期待し筆を置きます。

## ちょっといい話



C組  
須江 二郎

娘の嫁ぎ先が東京の足立区にあり、12月中旬に3歳の孫に会いに妻と車でいきました。新宿で買物をして、娘の住まいの近くのスーパーで買物をしたりして孫と夕方近くまで過ごして帰宅しました。翌日名刺入れが無い事に気が付き、方々を探しましたがありませんでした。クレジットカード2枚やゴルフ場のシニアカードなどが入っていましたので真剣そのものでした。都内で紛失となると被害を受ける可能性が高いので、その日の夕方にはカード会社

2社に電話で紛失の届出をして紛失カードの機能停止をして貰い、そして再発行を依頼しました。一週間程して突然“名刺入れを落としましたか”との電話が入りました。娘の近くのスーパーの店長さんからでした。お話では子供3人ほどでお店のレジ係りに届けられたそうです。丁重にお礼を云い、娘が受取りに何うことにして電話を切りました。都内での紛失で殆どあきらめていたので大きな喜びを味わいました。殺伐とした、相互不信の広がる最近の世相を多少あきらめの気持ちで見えていましたが、市井の人々の真面目に真剣に誠実に仕事をし、生活をしていることを実感しました。世の中、決して棄てたものではないとほのぼのした気持ちの年の瀬でした。店長さんには私のうれしかった気持ちとお礼を書いた手紙と日立の銘菓を送り謝意としました。

昔の光 いまいずこ



D 組  
川崎 寿夫

30歳で始めたゴルフは、40歳（1980年）の年に運、ツキ、バイオリズムの全てが合致して、ラッキーな1年となった。2つの取切り戦でカップを手にし、事業所の比較的大きなコンペでまさかのハーフ36が出て優勝、その勢いで大みか理事長杯でも優勝してしまった。今年（2004年）は申年（さるどし）。「申年は上司や先輩の意見を聞くとツキが回る。単独行動はとらず、皆と歩調を合わせることが肝要な年」だそうだ。

今になって1980年は申年だったことを改めて噛み締めている。勿論、優勝はハンディキャップとツキに助けられてのことだが、振り返ると必要以上に意気込むことなく、パートナーに支えられ、楽しむ中で好結果を得たように思える。（実は理事長杯の名誉を傷つけては…との思いから、優勝後に努力してハンディキャップを上げ、A級入りして何とか格好をつけたつもりでいる）

この大きな目標達成感を得た後は、山歩きにウェイトが移り、力量がハンディキャップからどんどん離れてきている。最近では「飛ばない、寄らない、入らない」の状況で、正に「昔の光いまいずこ」だ。でも、ゴルフの楽しさを忘れてはいない。

ボランティア活動随想

子供たちに  
科学の面白さを



B 組  
戸波 宗彦

平成13年日立に戻ってより、日立シビックセンター・科学館/天球劇場のサイエンス・ボランティアとして、また、日立宇宙少年団(略称YAC)のお手伝いとして毎週一回顔を出し、(日)OBの田中瑞穂さんと一緒に実験指導・企画などに参加しています。

YACは小3以上の子供たち20人ぐらいが毎月集まって、理科実験と天体観測をしています。理科実験では例えば、「圧力について勉強しよう」ではサイフォン現象、マグデブルグの半球やU字管の実験、「マーブリングで楽しもう」では絵の具で寒天液の上に自由に模様を描いて紙

に写しとる実験(写真)、「酸・アルカリって何？」ではフェノールフタレイン試薬を用いて中和点を滴定法で見つける実験など、子供達の生き生きした様子や反響を見ながら一緒に楽しんでいます。

今年97歳になられる電子顕微鏡の只野文哉さんは「教育には持続教育と瞬間教育とがある。科学は瞬間教育で、子供の内に面白さに目覚めさせることが大切」と説かれ、毎年ご出身の岩沼市内の小中学校で講演をされています。私など及びもつきませんが只野さんを見習い、社会への恩返しの一つとして今後も続けて行きたいと思っています。



## 2000ラウンドを達成して

副会長 三好 幹人



平成15年7月7日に大みかGCで、2000ラウンドの達成を同伴者3人に、祝福して戴きました。シニア会「30年の歩み」に寄稿もして、週2回のゴルフをと続けていたのです。

何と云っても健康が第一、70歳を過ぎてからは年1回の人間ドックを止めて、自分なりの健康保持に励み、毎日朝晩の2回10分足らずですが、忘れることなく続けて自分流の運動をします。癖になっておりその為か、平

成1年5月以降風邪を引いたことがありません。これもゴルフのお陰と感謝しております。別天地の大みかGC迄、車で5分位の所に住んでいるため、全然苦になりません。妻も表面は「行ってらっしゃい」と気持ちよく送り出してくれます。

大みかGCでの回数は2000ラウンド中612ラウンドで「ダントツ」です。或る先輩から「エイジシュートの出来ない者はせめてエイジラウンドでもせよ」と云われ、それから2年後にエイジラウンドを越えて、平成7年に80ラウンドも出来ました。それから毎年達成し、最多は平成12年の92ラウンドでした。

私がゴルフを始めたのは44歳でした。シニア会の皆様はそれより早くからだだと思います。何れにせよ人生夫々に生涯の目標を持って進めていると思いますが、自分に課した目標に向かって進むことを願っております。

2000ラウンドを達成してからは、急に気が抜けてゴルフ場行きが週1回を割る程度になってしまいまして、次の人生目標は何にしたら良いか思案している昨今です。「何時迄も希望を持って」でしょう。



右から2人目が三好副会長

## ホールインワン達成!

平成15年11月13日 第181回競技会  
大みかコース3番ホール

7月3日B組の競技会での正岡さんに続き、同じB組で11月13日大みかゴルフコースでは初めてのホールインワンを達成し感無量です。

同伴者の中津川さん・松井さん・東屋敷さんに感謝致します。特に東屋敷さんは正岡さんの時も同じ組だったようで、女神的存在です。2ラウンド目の3番ホールで9番アイアンの打球が2バウンドし、1mぐらいからパターで打った様な感じで転がり「ニアピンが取れば良い」と思っていたが、前の組から歓声が上がったので、「やってしまった!」と直感しました。1ラウンド目もニアピンを30cm離され、2ラウンド目は久保さんが2m位につけていたので「ネラウゾ(ニアピン)」と宣言して打ったのが良かったようです。3ラウンド目も危なかったのですが、惜しくもニアピンをはずしてしまいました。3回とも気持ち良くショットできたことが満足でした。これを機会に古希を迎える年にあたり、今後のゴルフ人生を占う意味も含め、尚一層精進努力したいと思います。



B組 皆川 公

お元気ですか？

## 糖尿病の話

日立総合病院 院長 岡 裕爾



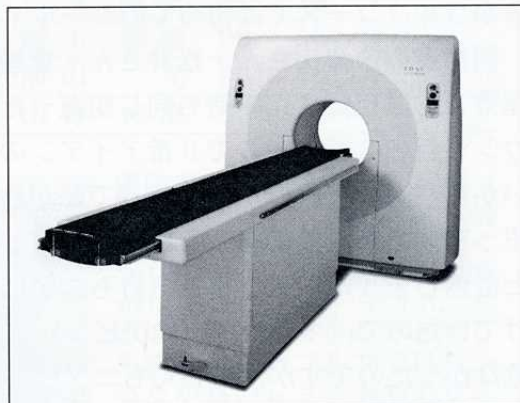
糖尿病は、血液中のブドウ糖を調節する働きをする、膵臓から分泌されるインスリンの不足により引き起こされる高血糖を主な症状として、いろいろな代謝の異常を伴う病態をいいます。近年、日本でも生活習慣の変化から糖尿病の患者が増加し、平成14年の推計では、糖尿病患者数212万人のほかに、糖尿病が強く疑われる方が約740万人、可能性を否定できない方が約880万人いるといわれています。国民医療費の面では、一般診療医療費24.4兆円のうちの1.2兆円が糖尿病関連の費用であり、他の疾患に使われる医療費の伸び率に比べて年率5.3%という高い数字でダントツに増加し続けています。糖尿病は、大げさかもしれませんが

亡国の疾病とも言えます。

その発症には遺伝因子と環境因子がともに関与します。他の疾病があるために糖尿病になる場合もあり、膵臓や肝臓をはじめ内分泌などの病気でも引き起こされますし、妊娠でも起こります。高血糖が強くなければ、全く無症状であることも多く、早期発見のためには血糖検査やグリコヘモグロビン検査などを受ける必要があります。

血糖の異常が長期間にわたって持続する時には、尿にぶどう糖が高濃度で排泄されるために、浸透圧により血液中の水が引き出されて尿量が増加します。そのために血液中の水分が不足して、口渴がおこり多飲になります。当然、栄養である糖が尿に漏れ出てしまうために、食欲旺盛にも拘らず体重が減少します。栄養不足で身体の異化が強くなると血中ケトン体が多くなり、ケトアシドーシスという状態になります。嘔気・嘔吐も加わり体液の不均衡も強まって昏睡にまで至ります。これは死亡率の高い恐ろしい合併症です。他に高脂血症や高血圧も起こしますが、動脈硬化症も強く促進しますので、視覚の受容器がなる網膜の血管に異常が起こり糖尿病性網膜症となりますし、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞などとともに腎臓障害をも引き起こします。末期である腎不全になると人工透析が必要になりますが、糖尿病はその原因の主たるものの一つです。神経の伝導障害により四肢末梢の知覚障害や動脈硬化による足趾の壊死もみられます。また、インポテンスも良く知られています。さらに、白血球の働きが弱くなり細菌などに対する抵抗力も落ちるために、感染症が起こりやすくなり、かつ、重症化しやすくなります。このように糖尿病には多くの合併症があり、どうしても平均寿命が短縮されてしまいます。

インスリンの絶対的不足による糖尿病はさておいて、相対的なインスリン不足の病態の方が増えているなかで、その多くは肥満を主とするものです。まず、標準体重にすることを第一に、バランスの良い食事内容で綿密なカロリー調整を行い、適切な量の運動療法をあわせ行い、薬物療法を加えることが必要です。しかし、高血糖が発見されて、自己流で体重調節をされる方がありますが、ご自分で努力する意識は頼もしいのですが、糖尿病の発症原因は複合的であり、単純に肥満のみが原因と言えずに別な原因が関わっていることも多々あるわけで、専門医の精密診断と指導を必要とします。また、インスリン注射を必要としない糖尿病は軽いものと考えている方が多いことが問題です。どちらのタイプの糖尿病も、食事や薬物療法でコントロールしても合併症はまぬがれませんので、厳密で継続的な療養が必要です。



前号でご紹介いただいたPET稼動！  
がんの早期発見に役立つ検査方法として話題！

## ご趣味紹介

### 謡曲、仕舞

前宝生流教授囑託会茨城県支部長  
B組 志村 浩道氏

宝生流の謡曲、仕舞を楽しんでいます。同期で入社した友人に誘われて始めた謡曲、仕舞は途中の中断はあったがかれこれ40年になる。

平成15年5月20日～5月22日に宝生流教授囑託会が主催する謡曲名所めぐり「近江・京都の旅」に参加した。竹生島の都久夫須麻神社にて「竹生島」を、多賀大社能舞殿にて「加茂」を、三井寺観音堂にて「三井寺」を、鞍馬寺本殿金堂にて「鞍馬天狗」を奉謡してきた。今までは謡本に書かれている情景を想像しながら謡っていたが、今回は物語に描かれているその場所で謡ったので感慨ひとしおであった。

平成13年に右足膝の痛さで、また平成14年には右肩の痛さで趣味のゴルフ、仕舞とも出来なくなった事があった。幸い医師の適切な治療のお蔭で元通りまた趣味を再開できるようになった。これからも健康に留意して趣味を楽しんでいきたい。



## ご意見コーナー

会員皆様のご質問をお待ちします。

- Q. 前号会報でチャンピオン決定戦入賞者を20位まで掲載戴いたので、旧友が活躍していることを嬉しく拝見しました。通常の競技会入賞者も3位迄でなく、上位者は一人でも多くご紹介願えればと思います。出来ればBBも…。 (B組KU)
- A. 拝承。早速別頁の如く、競技会成績入賞者10位迄を掲載させて戴きました。なお、BBは席上ご挨拶に留めるべきかと考えて割愛致しました。 (競技委員会)
- Q. 大みかGCにビギナー風のプレイヤーの眼にあまるマナー違反を見掛けることがあります。小平翁の聖地の思いからすれば、シニア会会員たるもの注意・指導の声を掛けるべきかとおもいますが…如何したものでしょうか？ (C組MH)
- A. メンバー以外の方入場者も多くなりコース事務所の方で掲示板などにより注意事項を表示するようにしています。メンバー同士の注意・指導は結構ですが、メンバー以外の方にはお互いに気まずくならないよう事務所の方に申し出下さい。 (エチケット委員会)

大みかゴルフの野鳥

広いゴルフ場でのプレー中ホール間の移動やティーショットの合間にふと聞こえる野鳥の声。フェアウェイで前方を案内してくれる小鳥。林へ打ち込んだボールを探して入った途端、足下から飛び出し驚かされた野鳥。

特に大みかゴルフ場は、街の中にありながら風神山から大甕神社の森と繋がっており、可成り多くの野鳥がいる。正月の暖かい休日、プレーとは違って野鳥の観察に覗いてみた。

人のいない広いフェアウェイと松林、神社の森、普段はボールが飛んでくることがあるが、野鳥たちにとっては最高の楽天地のようだ。

先ず駐車場からコースの方へ 民家との境の植え込みからメジロの声、そしてウグイスの“ジャッ ジャッ”というササ鳴き。パット練習場へ下りて行くと、樺の梢に嘴の黄色いイカル。シロハラが奇声をあげて左の植え込みへ。スタート前に日立稻荷の大きな薄暗い椎の木の森の中へ、途端に足下からお腹の黄色いアオジが奥へ、木の上でカケスの“ジャー ジャー”と言う声。二番ホール側の明るいところにキジバトが2羽、山茶花の生け垣の竹にジョウビタキの雄が止って尾を震わせて“クワッ クワッ”と威嚇しているようだ。一番ホールの広いフェアウェイにハクセキレイ（殆どのホール芝生の上で見られる）二番ホールとの間の松林の地上ではツグミ（場内至る所で見られる）が首を伸ばして得意のポーズ。樹上で松の実の種を食べているのかシジュウカラの群、一緒にコゲラ（キツツキの種類）の姿も見られる。場内で一番数多く松の上や芝生で見られるカワラヒワ羽の黄色が目立つ。一番ホール中間辺り松林との境目芝生の上を尾を上下に振りながらビンズイの群（四番ホールの池横のネットの手前 松林でも見られる）。四番ホール民家側のネットの奥、柿木がありモズの縄張り、キジバト・ツグミ・ムクドリが出てきた。ヒヨドリが道路沿いの茂みに沿って甲高い声を上げて波を打って飛んだ。池の横ネット裏の涌き出る水場に、2～3羽アオジが水を飲んだり水浴びをしていた。グリーン奥隅に数羽のシメの群“チー”と鳴いて植え込みへ。五番ホールへの途中グラウンド側で20羽を超えるスズメの群、グラウンド側の土手に餌でもあるのか騒がしい。ジョウビタキが練習場横迄道案内。五番と一番ホール横の松林地上にシメ・ツグミ・カワラヒワの群が何かを啄んでいる。五番の坂の右側でツグミの種類のアカハラが1羽、盛んに落ち葉をかき分けて餌を探している。六番ティーグラウンドに立つと七番ホール側松林から幹を叩く音が聞こえた。耳を澄まして音の方角の方を静かに辿って行くと1羽のアオゲラ（キツツキの種類）が盛んに枯れた松の枝をつついていた。六番ホールの広いフェアウェイ、此処にもハクセキレイ、そして



B組 石川 皓



ジョウビタキ



アオジ

左の松林からツグミの頭が見える。グリーンから見える緑の屋根、傍らの桜の木の下に10～20羽のムクドリが餌を探っている様子。一通り場内を巡ったが、時にはプレーの合間に野鳥の声に耳を澄まし、姿を追って気持ちや和ませるのも良いのではないだろうか。



第180回競技会成績 於 日立ゴルフクラブ

☆A組

	H15.9.18	G	H	N	新H
優勝	坊坂 明	80	11	69	6
準優勝	横須賀 元也	86	17	69	12
3位	茶園 悦男	88	17	71	14
4位	藪田 太郎	101	29	72	
5位	二平 豊治	85	11	74	
6位	大川 幹彦	97	23	74	
7位	窪添 守起	105	31	74	
8位	三好 文之	103	28	75	
9位	角田 啓輔	91	14	77	
10位	川松 文夫	92	15	77	
BG	坊坂 明	80			



坊坂 明

優勝者のことば： 久し振りのBG優勝「やったあ」の達成感を味わってます。高島さん(A)、安保さん(B)、近藤さん(B)そして早朝よりお骨折り下さった幹事の方々に心より感謝の意を表します。有難う御座いました。

☆B組

	H15.9.18	G	H	N	新H
優勝	八木 秀幸	83	16	67	9
準優勝	須藤 貞夫	94	23	71	19
3位	鈴木 俊彦	84	11	73	10
4位	曾根原 隆士	91	18	73	
5位	安保 勝夫	98	25	73	
6位	菅谷 恒朗	84	10	74	
7位	岡村 参次	85	11	74	
8位	久保 禎宏	88	14	74	
9位	桜井 正一郎	89	15	74	
10位	番場 幸四郎	94	20	74	
BG	久保 英章	80			



八木 秀幸

優勝者のことば： 強い日差しの中、乗用カートがなければメロメロになっていたと思います。ここ数年来、スランプ続きのため引退も考えていました。心機一転、延命できそうです。

☆C組

	H15.9.4	G	H	N	新H
優勝	古目谷 勲	86	16	70	11
準優勝	昨野 信政	79	8	71	6
3位	国谷 啓一	94	23	71	20
4位	海老根 克明	78	6	72	
5位	宇津 威	81	9	72	
6位	高橋 礼次郎	86	14	72	
7位	大内田 康	86	13	73	
8位	梅村 和男	100	27	73	
9位	岡田 伸一	77	3	74	
10位	今井 信一	81	7	74	
BG	岡田 伸一	77			

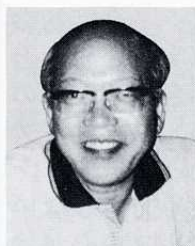


古目谷 勲

優勝者のことば： シニア会に入会し1年7ヶ月で優勝できました。中田さん、佐藤(宏)さん、高山さんと良きパートナーに恵まれ、楽しく廻れたお蔭と感謝しております。小さなミスを無くし更に精進したいと思います。

☆D組

	H15.9.4	G	H	N	新H
優勝	大豆生田 勇	90	21	69	14
準優勝	内藤 凱夫	80	9	71	7
3位	山野 邦雄	81	9	72	8
4位	茂刈 武人	87	15	72	
5位	笹島 弘	91	19	72	
6位	三度 毅	108	36	72	
7位	中田 正義	91	18	73	
8位	大内 興次	96	23	73	
9位	岡田 定五	78	4	74	
10位	小西 健司	78	4	74	
BG	小西 健司	78	同点	岡田 定五	



大豆生田 勇

優勝者のことば： 昨年入会して3回目の参加で初優勝させて頂きました。毎週の大みかGCでの賜か、7個のパーに恵まれてスコアが纏りました。同伴の海老根克明さん、金子義和さんに感謝します。

第181回競技会成績

☆A組

	H15.11.10	G	H	N	新H
優勝	新谷 雅男	68	19	49	23
準優勝	横田 拓	76	24	52	31
3位	石崎 幸	62	9	53	13
4位	高島 祐吉	64	11	53	
5位	笠井 大史	65	12	53	
6位	赤塚 淳	65	12	53	
7位	石川 武重	66	13	53	
8位	横須賀 元也	62	8	54	
9位	名久井 徳弥	63	9	54	
10位	宮田 賢	72	18	54	
BG	石崎 幸	62	同点	横須賀元也	

(降雨のため12ホール)



新谷 雅男

優勝者のことば： 雨で順延となり参加人員も少なく、また雨にみまわれ皆さんがスコアを崩されたお蔭で優勝でき幸運でした。

アプローチとパットが比較的安定してスコアが纏ったと感謝しています。

☆B組

	H15.11.13	G	H	N	新H
優勝	大島 俊彦	84	14	70	10
準優勝	高崎 健三	98	28	70	22
3位	正岡 功	94	23	71	20
4位	近藤 正文	92	20	72	
5位	吉田 研之介	92	20	72	
6位	菅谷 恒朗	84	10	74	
7位	林 正廣	87	13	74	
8位	松井 昌夫	92	18	74	
9位	植田 光	85	10	75	
10位	桜井 正一郎	90	15	75	
BG	久保 英章	83			



大島 俊彦

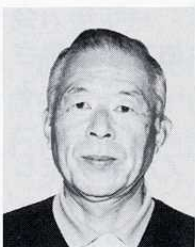
優勝者のことば： HSGに参加して約4年になりますが、優勝したのは始めてです。

同伴の方々がリズム良くプレーされ、それに乗ることが出来、風にも助けられたのが勝因です。

☆C組

	H15.11.20	G	H	N	新H
優勝	海老根 克明	78	6	72	5
準優勝	柏木 正義	93	21	72	18
3位	須江 二郎	84	10	74	9
4位	竹岡 哲雄	90	28	62	14
5位	前野 徳樹	93	19	74	
6位	小佐野 勝春	96	22	74	
7位	安藤 捷治	89	14	75	
8位	川亦 直衛	92	17	75	
9位	池田 忠禧	82	6	76	
10位	野田 仁郎	89	13	76	
BG	海老根 克明	78			

(竹岡 哲雄 初参加の為 4位)



海老根 克明

優勝者のことば： 今回初参加の竹岡さん(実質優勝)とコース攻略を話し合いながらの練習ラウンドが、二人共好スコアに繋がったと思います。今後は無謀な攻め方をしないシニアらしいゴルフを心がけたいと思っています。

☆D組

	H15.11.27	G	H	N	新H
優勝	山野 邦雄	80	8	72	6
準優勝	小林 正幸	86	14	72	12
3位	石川 良雄	88	15	73	13
4位	城戸 勝弘	90	16	74	
5位	松坂 矯	88	13	75	
6位	小西 健司	81	4	77	
7位	植田 千秋	84	7	77	
8位	石川 隆宏	91	14	77	
9位	前川 磐雄	93	16	77	
10位	前山 光	96	19	77	
BG	山野 邦雄	80			



山野 邦雄

優勝者のことば： 28・28・24と前半のスコアが悪く最後まで入賞を考えるとなくプレーできたのが好結果に繋がりました。バーディ3、ダボ4の荒っぽいもので必ずしも満足できるゴルフではなかったが、良いショットもあり、今回の優勝が今後の勝利に繋がるよう願っています。

第182回競技会成績

☆A組

	H16.3.4	G	H	N	新H
優勝	宮澤 寿郎	98	36	62	21
準優勝	鈴木 博之	93	25	68	18
3位	赤塚 淳	87	18	69	13
4位	高根 元	84	13	71	
5位	大川 幹彦	94	23	71	
6位	須田 長治	97	26	71	
7位	石崎 幸	87	13	74	
8位	笠間 良治	94	20	74	
9位	久保寺 朝二	102	28	74	
10位	笠井 丈夫	93	18	75	
BG	高根 元	84			



宮澤 寿郎

優勝者のことば： 長い人生には誰にもチャンスは廻ってくると云うが、今回勝てたのはパートナー（高根、山崎氏）に恵まれたことと無慾が原因だった。今後も「烈士暮年壯心已まず」を生涯の座右の銘としていきたい。

☆B組

	H16.2.26	G	H	N	新H
優勝	橋本 宏	82	10	72	8
準優勝	鈴木 敏彦	84	10	74	8
3位	鈴木 静二	85	11	74	10
4位	曾根原 隆士	92	18	74	
5位	皆川 公	86	11	75	
6位	桜井 正一郎	91	15	76	
7位	山崎 善弘	96	20	76	
8位	木暮 澄夫	99	23	76	
9位	小又 洋次	89	12	77	
10位	吉田 研之介	97	20	77	
BG	橋本 宏	82			



橋本 宏

優勝者のことば： シニア会に入会して3回目の優勝で、大変感激しています。良き同伴者に恵まれたお蔭と心から感謝しています。更に精進し、新ハンディに恥じぬよう一層努力いたします。

☆C組

	H16.2.19	G	H	N	新H
優勝	村尾 勝治	85	19	66	10
準優勝	渡部 正義	77	8	69	4
3位	白石 久敬	91	20	71	17
4位	高坂 七三	86	14	72	
5位	佐藤 弑也	88	16	72	
6位	岡田 伸一	76	3	73	
7位	小野寺 勝重	87	13	74	
8位	中野 文夫	88	14	74	
9位	小田切 亘	96	22	74	
10位	杉山 靖	99	25	74	
BG	岡田 伸一	76			



村尾 勝治

優勝者のことば： 「やったあ！」念願の80台。同伴者の池上、酒井、小佐野3氏に引っ張られ、適度の緊張と集中力の持続、ツキが好スコアにつながった。未知の新HDに向けて更なる精進と挑戦を…感謝感激！

☆D組

	H16.2.12	G	H	N	新H
優勝	中島 正夫	87	13	74	10
準優勝	中田 正義	92	18	74	15
3位	樋口 修	94	20	74	18
4位	大内 興次	99	23	76	
5位	内藤 凱夫	84	7	77	
6位	石上 雅宏	92	13	79	
7位	前山 光	98	19	79	
8位	石田 和夫	99	20	79	
9位	宇佐美 寿一	95	15	80	
10位	向尾 正昭	96	16	80	
BG	内藤 凱夫	84			



中島 正夫

優勝者のことば： 大みかGCでは、2・5番ホールで崩れていました。直接攻めるとこぼれるし、グリーン手前は曲げると悲劇！旗を目がけて闘牛の如く突き進むのを止め、自分の実力に見合ったエリアへ運んだことが勝因でしょう。

競技委員会

1. 平成16年度競技日程 ・各競技の予備日は、次週月曜日

回数	組	競技日	回数	組	競技日
183	A,D合同総会	4/8 (木)	186	B,D合同	9/2 (木)
	B,C合同総会	4/22 (木)		A,C合同	9/9 (木)
184	A	5/13 (木)	187	A	11/4 (木)
	B	5/20 (木)		B	11/11 (木)
	C	5/27 (木)		C	11/18 (木)
	D	6/3 (木)		D	11/25 (木)
185	A	6/24 (木)	188	D	2/3 (木)
	B	7/1 (木)		C	2/10 (木)
	C	7/8 (木)		B	2/17 (木)
	D	7/22 (木)		A	2/24 (木)

ハンディキャップ昇格者

平成16年度見直しにより下記の方が昇格されました。489名中5名のみで、日頃の地道な努力の結果でありここに顕彰申し上げます。

組	氏名	旧HDC	新HDC
A	安保 勝夫	25	23
A	結城 正康	24	23
B	広川 利三	22	21
B	山崎 善弘	20	19
C	大内 興次	23	22

- ・平成15年度チャンピオン戦 3/25 (木) — (平成15年度 1～3位、BGの方を対象)
- ・喜寿ゴールドコンペ 10/7 (木) — (平成16年度に喜寿を迎えられる方以上を対象)

エチケット委員会

第14回配付マナーカード

今日もマナーを守って頑張りましょう  
(リーダーはパートナーに徹底して下さい)

1. 遠球先打の原則を守り、ショットをする同伴者よりも絶対に前に出ないこと。
2. 前の組に絶対に打ち込まないよう、十分に距離を取って打ちましょう。
3. プレーは出来るだけ早くしましょう。ショットはゆっくり歩行は早く。

第15回配付マナーカード

今日もマナーを守って頑張りましょう  
(リーダーはパートナーに徹底して下さい)

1. ゴルフ規則第一章はエチケットで始まっていることを銘記して下さい。
2. 同伴競技者をはじめ他のプレーヤーに十分に配慮し迷惑のかからぬようにプレーすべきです。
3. 各組共、他のすべての人の為に、プレーを遅らせてはなりません。

\*マナー・エチケット集改訂：改訂版を発行致しましたのでご活用下さい。

ルール三二解説

バンカー内カジュアルウォーターの取扱い基本

1；無罰

通常のカジュアルウォーターの処置に従いますが、救済のニヤレストポイントをバンカー内に決めなければならない点と、球もそのバンカー内にドロップしなければならない事に注意を要します。(規25-1、b)

2；1罰打

- 2.1) バンカーが全面的に水浸しになっている時でも、無罰では救済を受けることは出来ません。(そのまま打つこととなります)  
カジュアルウォーターの救済を受けるのであれば、バンカーの外で、ホールと球のあった地点と結んだ後方線上にドロップすることが出来ます。(規25-1、b)
- 2.2) 条件の悪いバンカーを嫌い、アンプレアブルの宣言をした場合は、その球をプレーした地点にドロップして打ち直すこととなります。(規-28)

総務委員会

1. 会員数現況

(人)

組	年齢区分	前年度 H15.3.31	入会	退会	現在 H16.1.31
A組	70歳以上	142		15	127
B組	67～69歳	132	1	10	123
C組	64～66歳	136	5	9	132
D組	60～63歳	79	27	4	102
合計		489	33	38	484

年齢区分：H15. 3.31時点

2. 新入会員 (H15. 7. 1以降)

No.	入会	氏名	地区	組	HD	出身
20	7月	川本 幸雄	東京	C	17	(日研)
21	7月	泉 勝夫	日立	D	14	(お)
22	9月	松崎 四郎	日立	D	18	(日)
23	9月	竹岡 哲雄	水戸	C	28	(化)
24	9月	垣花 寿雄	日立	D	19	(線)
25	9月	石田 和夫	日立	D	20	(日)
26	10月	石川 隆宏	日立	D	14	(日)
27	10月	木内 正	日立	D	?	(国)
28	11月	石田宏一郎	日立	D	13	(お)
29	11月	高木 宣輔	日立	D	18	(日)
30	12月	千葉 優明	日立	D	20	(日研)
31	12月	竹内 孝	水戸	B	12	(線)
32	1月	松浦 諄	日立	D	16	(化)
33	1月	山口 敏夫	ひたちなか	D	14	(珂)

3. 退会者 (H15. 7. 1以降)

No.	退会	氏名	出身	組	事由
26	8月	可知 章三	(お)	A	健康上
27	10月	酒井 馨	(珂)	A	健康上
28	10月	壁谷 宗春	(線)	B	健康上
29	10月	豊田 康三	(国)	B	健康上
30	11月	岡 和郎	(国)	A	御逝去
31	11月	富田 浩	(線)	C	健康上
32	12月	村上登志夫	(と)	A	自己都合
33	12月	上村 廣一	(化)	B	自己都合
34	12月	小杉 哲夫	(日研)	B	自己都合
35	12月	笠木 博幸	(国)	C	自己都合
36	12月	杉本 靖夫	(線)	C	自己都合
37	12月	朝倉 一男	(国)	C	自己都合
38	12月	小西 英樹	(と)	C	健康上

4. 平成15年度決算報告

(H16. 1. 20現在)

収入	(円)
イ. 前年度繰越金	1,775,808
ロ. 年会費	1,452,000
ハ. 競技会参加料	2,518,000
ニ. 競技会不参加料	22,000
ホ. その他	28,026
合計	5,795,834

支出	(円)
イ. 競技会案内状	401,970
ロ. 賞品代	1,412,864
ハ. パーティー代	1,249,784
ニ. シニアマーク代	20,955
ホ. 会報等印刷製本費	1,144,500
ヘ. その他	405,739
合計	4,635,812

※残高 (収入-支出) = 1,160,022

【補足説明】

■収入の部

ホ. その他：30周年記念誌個人向け誌代

27冊×1,000円=27,000円

■支出の部

ホ. 会報等印刷製本費 (内訳)

- ・会報13号印刷代 152,250円
- ・H15会則会員名簿印刷代 99,750円
- ・30周年記念誌印刷代 735,000円
- ・会報14号印刷代 157,500円

計 1,144,500円

ヘ. その他 (内訳)

- ・役員会 (コピー代、コーヒー代) 33,092円
- ・委員会諸経費 (通読費、コーヒー代等) 198,053円
- ・会報等送料代 71,664円
- ・委員会活動費 52,930円
- ・白戸プロ、レッスン料 50,000円

計 405,739円

5. 年会費納入のお願い

毎度のお願いで恐縮ですが、年会費(¥3,000)はHSG運営の重要な財源でありますので新年度最初の競技会時または、銀行振込での納入を御願ひいたします。

平成15年度は督促状を送付しても納入されない方が若干おられますが、規約により年度末までに納入のない場合は、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。

振込先 常陽銀行久慈浜支店 口座番号 普通 0468680  
名 前 日立シニア会代表 佐藤 式也 (サトウ イチヤ)

# 白戸プロレッスン

白戸プロによるレッスン会が、昨年に続き今年も12月13日に、約30名が参加して大みか練習場で行われました。日立グループ出身で15年度女子プロのランキングも21位に入った白戸プロの華麗なスイングと熱の入った適切な個別レッスンに参加者全員が、レベルアップされた様子でした。

白戸プロの16年度の活躍を応援しましょう。



レッスン風景

## シニア山柳

怖いもの鯉頭・雷・十二才  
「道具じゃない」と云ってる彼がチタン買い  
願わぬが増すは年令・皺・ハンデ

二平 豊治

飛距離捨て幅を制して福招く  
自分流自身で開発す  
リハビリの友を気遣い玉を追う

坊坂 明

コースにも車恋しの年になり  
年重ねグチ打ち続くゴルフして  
ヤットコサ囲碁もゴルフも生きていく

八木 秀幸

「おはよ」の挨拶ひとつに火花散る  
ニコニコクラブ「財力じゃないよと負け惜しみ

古目谷 勲

ナイスショットの夢追い過ぎてBB賞  
賞品はBB賞だけかと古女房

篠田 和男

松林グリーンますます遠くなり  
バンカーに女神ほほえむ事もある

海老根克明

喜寿迎えゴルフが出来てただ感謝

新谷 雅男

譲られてスグ喜べぬブルービー賞  
ミスショットモグラの助けてビタリ寄り

幸田 智一

シニア向きブランド品より軽量品  
魔のホール今日も出会いの乱れ打ち

村尾 勝治

突風に小枝の球をたすけられ  
シングルにひきたたえられて勝名乗り  
パッティング芝のキツさに音をあげる

大島 俊彦

ダボトリで狙いは何時か金銀銅  
バーディは快心のショットと鼻高く  
自打順の風は不思議に何時もアゲ

山野 邦雄

いいショットより丁寧な目土入れ  
なぜ出ない練習成果本番で  
初夢はチャンピオン戦で初優勝

渡辺 清志

飛ばし屋に囲まれ二打は孤独なり  
改革へ又ドライバー新営す  
シルバーのティーあるコースへ足が向き

久保寺朝二

ドライバーまだまだ越せぬ三途の河  
ナイスショットほめときそれ越すに奴  
またOB明るい日差しに深呼吸

山崎 善弘

優勝をクラブに託しヘッド拭く  
ヘッドアップ悲鳴をあげて結果よし

宮田 賢

定年や携帯電話に孫の顔  
シルバーの仲間入りし落葉掃く  
通販で道具届くも積んだまま

鈴木 正

アプローチ我が家の芝がかわいそう  
庭に散る練習ボールにはしゃぐ孫

橋本 宏

今日こそと出かけて帰りは次ぎこそは  
届く距離林へ曲げて多叩き

中島 正夫

顔マスク背中にカイロ腰シッ  
税金もゴルフも控除まます  
ハルウララ今年も神峰に桜散る

吉田 晴彦

## 編集後記

- ★ 広報委員会はH9年に発足、親しまれる会報づくりを目指してから本号で第15号になる。どれだけ期待に応えられるか工夫と心配のなかで7年が経過した。
- ★ 紙面のカラー化は費用の面で躊躇したが、H13年の第10号から一部カラーに踏み切った。翌年の第12号から活字を大きくし見易くするためB5判からA4判に衣更えし、表紙も写真から絵に改め、会員画伯の水彩画が会報を引き立てている。
- ★ (日病)の岡院長先生からは健康維持についてご寄稿頂いているが、教えを日常生活に活かし、ゴルフ寿命を延ばしたい。
- ★ 本号から通常の競技会入賞者を第10位まで掲載することにした。前評判も上々、これは“ご意見コーナー”の産物である。会報も会員の協力があってより充実したものになる。

広報委員 宮田 賢